

クレマスチンシロップ 0.01%「タイヨー」の光安定性試験結果

緒言

クレマスチンシロップ 0.01%「タイヨー」につき光安定性試験を行い、その安定性について検討したので報告する。

試験検体

検体 クレマスチンシロップ 0.01%「タイヨー」

保存条件、包装形態及び測定項目

保存条件、包装形態及び測定項目を次表に示す。

保存条件	包装形態	測定項目
光 60 万 lx・hr	褐色ガラス容器	性状 pH 定量

試験結果及び考察

(1) 性状

結果を次表に示す。本品の性状は、試験開始時と比較して光 60 万 lx・hr まで変化を認めなかった。

保存条件	性状
試験開始時	無色澄明で、少し芳香があり、味は甘いが苦味があった
光 60 万 lx・hr	無色澄明で、少し芳香があり、味は甘いが苦味があった

(2) pH

結果を次表に示す。本品のpHは、試験開始時と比較して光60万lx・hrまでほとんど変化を認めなかった。

保存条件	pH
試験開始時	6.1
光 60 万 lx・hr	6.1

(3) 定量

結果を次表に示す。本品の含有率は、試験開始時と比較して光 60 万 lx・hr までほとんど変化を認めなかった。

保存条件	含有率 (%)
試験開始時	100
光 60 万 lx・hr	100

結論

クレマスチンシロップ 0.01%「タイヨー」につき、光安定性試験を行った結果、いずれの試験項目においても、試験開始時と比較して光 60 万 lx・hr までほとんど変化を認めなかった。これにより、本製剤の光安定性は問題ないと考えられた。